

『万葉古代学研究彙報』

平成二十四年度

- 二月一六日 田原本町公民館主催の「記紀・万葉歴史講座」（会場：田原本町民ホール）において、井上さやか主任
研究員（以下、井上研究員と略す）が「古事記と万葉
歌」と題して講演。
- 二月一八日 友の会共催「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「巻三
の世界（上）三三八〜三五〇番歌」を講義。
- 二月二三日 京都府城陽市東部コミュニティセンター主催の文学
講座（会場：城陽市東部コミュニティセンター）で、
井上研究員が「万葉集からみる「世界」と題して講
演。
- 三月 二日 万葉文化館ボランティア研修会において、小倉久美子
主任技師（以下、小倉技師と略す）が「万葉集の基礎
知識」について講義。
- 三月 三日 万葉文化館ボランティア研修の実地研修Ⅱにおいて、
井上研究員と竹本晃主任研究員（以下、竹本研究員と
略す）が実地研修の講師を務める。
- 三月 七日 本州四国連絡高速道路協会発行のパンフレット「瀬戸
内万葉紀行」の万葉歌碑紹介記事について、井上研究
員、竹本研究員、小倉技師が執筆協力（本州四国の
サービスエリア等で無料配布）。
- 三月 八日 第七回委託共同研究「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面
の比較研究」（研究代表者：見市泰男氏・京都嵯峨芸
術大学大学院非常勤講師／能面打師）の第五回共同研
究会を開催。
- 三月 九日 第一九回万葉古代学東京講座で、井上研究員が「日本
演劇史、伎楽にはじまる」と題して講演。
- 三月一五日 『万葉古代学研究年報』第一一号を発行。
- 三月一八日 友の会共催講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が
「巻三の世界（上）三五一〜三六三番歌」を講義。
- 三月二一日 奈良県「記紀・万葉プロジェクト」推進チーム会議に、
井上研究員が出席。
- 三月二二日 斎宮歴史博物館長の池山マチ氏および同学芸課長の榎
村寛之氏が来館。井上研究員・竹本研究員が館内を案
内。
- 三月二四日 檀原市多地区公民館主催の檀原市多地区地域学級講座
（会場：檀原市多地区公民館）で、井上研究員が「万
葉集からみる檀原」と題して講演。
- 三月二五日 登龍館主催の幼年国語教育会講座（会場：たかつガー
デン）で、井上研究員が「万葉集のことばとところ」

と題して講演。

三月三〇日 大神神社主催の三輪山セミナー（会場：大神神社）で、井上研究員が「大国主神の諸相」と題して講演。

保・佐紀路へ」で、井上研究員が引率講師を務める。

五月三日 万葉文化館「万葉の華」展開連講座として、小倉技師が「万葉びとの華―花をまとう文化―」と題して講演。

平成二十五年度
五月一〇日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第四回）を講義。

四月二日 一般展示室古典籍展示コーナー展示替え。

五月一日 奈良県農林部森林整備課主催「記紀・万葉鳥の絵画コ

四月二日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一回）を講義。

ンクール」表彰式に、井上研究員が審査員として参加。柏原市立歴史資料館主催の文化財講演会で、竹本研究員が「万葉集と古代史の接点」と題して講演。

四月一九日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第二回）を講義。

五月二日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第五回）を講義。

四月二〇日 八尾市立歴史民俗資料館主催の歴史ハイキング「春の飛鳥路を歩く」で、竹本研究員が館内および明日香村内史跡の引率講師を務める。

五月一八日 友の会主催「記紀万葉ウォーク⑧ 春色の葛城古道をゆく」で、小倉技師が引率講師を務める。

奈良県農林部森林整備課主催「記紀・万葉鳥の絵画コ
ンクール」（二次審査）の審査員を、井上研究員が務める。

五月一九日 明日香村伝承芸能保存会主催の文化講座（会場：明日香村中央公民館）で、井上研究員が「『万葉集』から飛鳥を考える」と題して講演。

四月二四日 講座「万葉集をよむ」で、小倉技師が「笠朝臣金村の旅の歌（三六四～三六七番歌）」を講義。

四月二六日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第三回）を講義。

五月二二日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「北陸への道（三六八～三七一番歌）」を講義。

四月二八日 友の会主催「記紀万葉ウォーク⑦ 古代の風薫る佐

五月二三日 京都府埋蔵文化財調査研究センターにおいて、竹本研

究員が木簡複製製作のための史料調査。

五月二四日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第六回）を講義。

五月三一日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第七回）を講義。

六月 七日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第八回）を講義。

六月一三日 一般展示室古典籍展示コーナー展示替え。

六月一四日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第九回）を講義。

六月二〇日 県立橿原考古学研究所において、竹本研究員が木簡複製製作のための史料調査。

六月二一日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一〇回）を講義。

六月二三日 三重県伊賀市において、小倉技師がベニバナを調査。

六月二六日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「山部赤人の春日野歌（三七二―三七三番歌）」を講義。

六月二八日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一一回）を講義。

六月二九日 第二〇回万葉古代学東京講座で、竹本研究員が「近江から北陸への旅万葉」と題して講演。第一回夕星講座

として、小倉技師が「『万葉集』巻Ⅰ 雄略・舒明天皇代」について講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。

齋宮歴史博物館学芸課長の榎村寛之氏、島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員の森田喜久男氏が来館、井上研究員が館内を案内。

七月 三日 和泉市いずみの国歴史館において、竹本晃研究員が般若経を調査。

七月 四日 宮崎県副知事の稲用博美氏一行が来館、井上研究員が館内を案内。

七月 五日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一二回）を講義。

京都薬用植物園において、小倉技師が研修に参加。

七月一〇日 桜井市観光協会主催の講座（会場：桜井市立図書館）で、井上研究員が「記紀万葉にみる桜井市」と題して講演。

七月一二日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一三回）を講義。

七月一三日 第二一回万葉古代学東京講座で、井上研究員が「古風土記に景をよむ」と題して講演。第二回夕星講座として、竹本研究員が「『万葉集』巻Ⅰ 舒明天皇代」に

ついて講義（いずれも会場は奈良まほろば館）。

七月一九日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一四回）を講義。

七月二三日 真美ヶ丘第一小学校教職員一行が来館、教職員研修会を実施。井上研究員が万葉文化について講義。

京都府埋蔵文化財調査研究センターにおいて、竹本研究員が木簡複製製作のための史料調査。

七月二四日 講座「万葉集をよむ」で、小倉技師が「湯原王の旅と宴（三七四～三七八番歌）」を講義。

奈良県「記紀・万葉プロジェクト」推進チーム会議に、井上研究員が出席。

七月二六日 県立橿原考古学研究所において、竹本研究員が木簡複製製作のための史料調査。

七月三一日 京都府与謝郡与謝野町において、小倉技師が藤布を調査。

八月 二日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一五回）を実施。

八月 三日 夏休み子ども万葉教室で、竹本研究員が「歴史探険にしゅっぱつだ〜」の講師をとめる。

八月一〇日 夏休み子ども万葉教室で、小倉技師が「万葉集ってなあに？」の講師をとめる。

八月一七日 第七回委託共同研究「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」（研究代表者・見市泰男氏・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師／能面打師）の第六回共同研究会を開催。

一般展示室古典籍展示コーナー展示替え。

八月一八日 美夫君志会八月例会（会場・中京大学）において、井上研究員が「天の探女と岩船」と題して研究発表。

八月二一日 「飛鳥古京を守る会」議員一行が来館、井上研究員が館内を案内。

奈良文化財研究所において、竹本研究員が木簡複製製作のための史料調査。

八月二二日 韓国前国土海洋部長一行が来館、井上研究員が館内を案内。

八月二三日 第八回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性―祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から―」（研究代表者・福岡豊氏／作・編曲家）の第一回共同研究会を開催。

八月二四～二六日 奈良女子大学古代学学術研究センターと共催

で、二〇一三年度若手研究者支援研修プログラム「注

釈と受容―『遊仙窟』を中心として―」を開催。二四

日に万葉文化館企画展示室において、金程宇氏（南京

- 大学文学領域外漢籍研究所副教授)による公開講演会
「中国に於ける『遊仙窟』研究の回顧と展望」を実施。
二五日は奈良女子大学で万葉語学文学研究会共催の研究
発表会が、二六日は臨地研修が実施された。
- 八月二五日 第二二回万葉古代学東京講座で、小倉技師が「奈良の
土産文化」と題して講演。第三回夕星講座として、井
上研究員が「『万葉集』巻1 皇極・斉明天皇代」に
ついて講義(いずれも会場は奈良まほろば館)。
- 八月二七日 第八回委託共同研究「日本列島の古代における音の超
越性―祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的
研究の視座から―」(研究代表者：福岡ユタカ氏／
作・編曲家)の第一回共同研究会を開催。
吉野郡(東)公立小中学校教頭会の夏季研修会におい
て、小倉技師が館内講座の講師を務める。
- 八月二八日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「坂上郎女の
神を祭る歌(三七九～三八一番歌)」を講義。
- 九月 三日 ユネスコ「ESD(持続発展教育)の一〇年」歴史文
化遺産人材育成会議(会場：奈良教育大学)に、井上
研究員が参加。
- 明治学院大学の和気康太教授の館内視察において、竹
本研究員が一般展示室を案内。
- 九月 四日 鶴見大学の新沢典子講師一行が来館、井上研究員が館
内を案内。
- 九月 八日 奈良交通共催歴史講座「飛鳥歴史紀行―日本のはじま
りを訪ねる旅」第6回で、竹本研究員が「万葉集」と
題して講演。
- 九月一〇日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」(飛鳥学冠位
叙任試験)の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 九月一三日 日本大学の梶川信行教授一行が来館、井上研究員が館
内を案内。
- 九月二二日 クラブツーリズム主催の「記紀・万葉に親しむ」講座
(会場：クラブツーリズム名古屋栄サロン)で、井上
研究員が「記紀・万葉のふるさと」と題して講演。
- 九月二五日 講座「万葉集をよむ」で、井上研究員が「筑波山に登
る歌(巻三・三八二～三八四番歌)」を講義。
- 九月二六日 朝日カルチャー(名古屋校)一行が来館、井上研究員
が館内を案内。
- 九月二八日 友の会主催「記紀万葉ウォーク⑨ バスツアー イワ
レビコ・天皇への道を辿る」で、小倉技師が引率講師
を務める。
- 一〇月 二日 万葉文化館地下一階にて、企画展「公開シンポジウム
「万葉古代学の飛鳥」関連展示」を開催(会期：一〇

月二日～一月二四日)

- 一〇月 三日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」(飛鳥学冠位叙任試験)の問題作成委員会に、井上研究員が出席。
- 一〇月 六日 第一〇回公開シンポジウム「万葉古代学の飛鳥」を開催。寺川眞知夫氏(元万葉古代学研究所長・同志社女子大学特任教授) 研究代表による第四回主宰共同研究「飛鳥からの発信―万葉古代学の地平―」(平成二三・二四年度実施)の成果報告として実施。北村辰治万葉文化館副館長による開催挨拶の後、はじめに共同研究の概略を上野誠氏(元万葉古代学研究所副所長・奈良大学教授)が、続いて基調報告として「飛鳥京(あすかのみやこ)の場所論(トポロジー)」阿部一氏(東洋学園大学教授)、「詩作の場、発表の場―『声の文化』と『文字の文化』との関係で―」高橋孝信氏(東京大学大学院教授)、「『大槻』と『飛鳥』」辰巳和弘氏(元同志社大学教授)、「明日香の古代―万葉歌にみる持統朝以前」犬飼公之氏(元宮城学院女子大学教授)が報告された。その後、寺川眞知夫氏による「石の飛鳥についての一つの見解」の報告とともに、上記メンバーに加えて井上研究員、竹本研究員、小倉技師をも交えた「パネルディスカッション」

ン」が実施された。

- 一〇月一〇日 高崎市教育委員会の協力で、竹本研究員が同市の金井沢碑を調査(公益財団法人由良大和古代文化研究協会平成二五年度「大和の古代文化」調査研究助成)。
- 一〇月一七日 エヌ・アイ・プランニング発行『narantol』の「吉野特集」取材に、井上研究員が対応(二〇一四年春号掲載予定)。
- 一〇月一八日 兵庫大学主催の公開講座(会場:兵庫大学)で、小倉技師が「万葉びとの衣文化」と題して講演。
- 一〇月二三日 講座「万葉集をよむ」で、小倉技師が「仙柘枝の歌(三八五～三八七番歌)」を講義。
- 一〇月二四日 エヌ・アイ・プランニング発行『narantol』の「吉野特集」取材に、井上研究員が対応(二〇一四年春号掲載予定)。
- 一〇月二六日 かぎろひコミュニケーションズ主催のウォーキング(ラジオ講座)で、井上研究員が引率講師を務め「記紀万葉でたどる天の香具山と磐余」と題して講義。
- 一〇月三二日 奈良県「記紀・万葉プロジェクト」推進チーム会議に、井上研究員が出席。
- 一一月 三日 第五五回万葉古代学講座および、兵庫大学・万葉文化館共催の公開講座として、井上研究員が「出雲国風土

記と古事記」と題して講演。

二月 四日 友の会主催「記紀万葉ウォーク⑩ 錦秋の龍田大社へ平群谷を歩く」で、竹本研究員が引率講師を務める。

二月 五日 奈良芸術短期大学主催の「明日香学講座」（会場：奈良芸術短期大学）で、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉集（一）」を講義。

二月 二日 奈良芸術短期大学主催の「明日香学講座」（会場：奈良芸術短期大学）で、井上研究員が「明日香（飛鳥）と万葉集（二）」を講義。

二月 二六日 京都府城陽市東部コミュニティセンター主催の文学講座（会場：城陽市東部コミュニティセンター）で、井上研究員が「万葉よもやま話―城陽市の万葉歌碑から―」と題して講演。

二月 二九日 朝日新聞社の「飛鳥京苑池遺構」に関する万葉文化についての取材に、井上研究員が対応。

二月 二〇日 講座「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「若宮年魚麿の誦む羈旅歌（三八八〜三八九番歌）」を講義。
奈良県立大学主催の「やまとまほろば学」（会場：奈良県立大学）で、井上研究員が「奈良の文化―古代文学の愉しみ―」と題して講演。

二月 二四日 ユネスコ「ESD（持続発展教育）の一〇年」歴史文

化遺産人材育成奈良会議の関連事業「ESDウォーキングⅢ」で、井上研究員が「万葉集でめぐる明日香の魅力」と題して講義し、明日香村内を案内。

二月 二六日 万葉研究会よろづは会（埼玉県）一行が来館し、井上研究員が館内講座の講師を務める。

万葉文化館ボランティアの会主催の研修「伊勢斎宮への道」で、竹本研究員が「泊瀬斎宮について」および「『万葉集』における石川郎女の分類」を講演。

二月 二八日 NPO奈良フェニックス大学主催の特別講座「奈良の歴史講座」で、井上研究員が「女性が拓いた奈良」と題して講演。

二月 二九日 ユネスコ「ESD（持続発展教育）の一〇年」歴史文化遺産人材育成会議（会場：奈良教育大学）に、井上研究員が出席。

一般展示室古典籍展示コーナー展示替え。

二月 一日 奈良大学・古都飛鳥保存財団連携ウォークイベント「記紀万葉の飛鳥を歩く―万葉人に思いを馳せて・Ⅱ―」において、井上研究員が上野誠氏（奈良大学教授）とともに引率講師を務める。

二月 二日 日本史研究会古代史部会（会場：機関誌会館）において、小倉技師が「日本古代における諒闇の特質」と題

して研究発表。

二月五日 第七回委託共同研究「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」（研究代表者：見市泰男氏／能面打師・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師）の第七回共同研究会を開催。

二月二〇日 古都飛鳥保存財団主催の「飛鳥版科挙」（飛鳥学冠位叙任試験）の問題作成委員会に、井上研究員が出席。

二月二四日 齋宮歴史博物館・島根県立古代出雲歴史博物館・万葉文化館共催の三館連携記念シンポジウム「伊勢・出雲・飛鳥研究の最前線」において、井上研究員が「飛鳥のイメージ―万葉古代学の視点―」と題して講演。

二月二七日 奈良市生涯学習財団のシニアからの教養講座（於、奈良市平城東公民館）において、小倉技師が「基礎から学ぶ、風土記―三〇〇年―」と題して講演。

二月二八日 講座「万葉文化をよむ」で、井上研究員が「譬喩歌について（巻三・三九〇―三九四番歌）」を講義。

二月二九日 第八回委託共同研究「日本列島の古代における音の超越性―祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から―」（研究代表者：福岡ユタカ氏／作・編曲家）の第二回共同研究会を開催。

二月三三日 第五六回万葉古代学講座および、兵庫大学・万葉文化

館共催の公開講座として、小倉技師が「播磨国風土記と飛鳥」と題して講演。

一月二八日 奈良まほろば館主催の「土曜イブニングセミナー」で、井上研究員が「万葉歌から日本の神話を考える① 万葉歌に詠まれた神々」と題して講演。

一月二九日 奈良まほろば館主催の「日曜モーニングセミナー」で、井上研究員が「はじめての『古事記』―命のはじまりの物語を読む―① はじまりの神話」と題して講演。

一月二二日 講座「万葉文化をよむ」で、小倉技師が「紫草と恋（三九五―四〇〇番歌）」を講義。

一月二六日 桜井市観光協会主催の「万葉講座とサイクリング」において、井上研究員が「記紀万葉にみる忍阪・倉橋」と題して講演。

一月二七日 奈良県立医科大学主催の特別講義において、井上研究員が「古代の生と死、病と医」と題して講義。

一月三一日 奈良まほろばソムリエの会主催の万葉講座において、小倉技師が「平安時代の平城」と題して講演。

※肩書き・題目などは、すべて当時のもの。

◆専任研究員のおもな業績（平成二十五年二月～平成二十六年一月）

井上 さやか

〔研究論文〕

- 「『万葉集』と「伎楽」―奈良の文化資源を掘り起こす―」（『万葉古代学研究所年報』十一号）平成二十五年三月
- 「『《万葉集》的世界観探討―關於域外地名和國境意識』」（訳：賈天勇）（王暁平編『國際中國文學研究叢刊』第二集）上海古籍出版社、平成二十五年十月

〔評論など〕

- 新刊紹介「梶川信行氏著コレクション日本歌人選021『額田王と初期万葉歌人』」（『美夫君志』八五号）、平成二十五年二月
- 平成23年国語国文学の動向・上代韻文「二十一世紀も十年過ぎて」（『文学・語学』二〇六号、全国大学国語国文学会）、平成二十五年七月

〔研究発表〕

- 「天の探女と岩船」（美夫君志会八月例会）平成二十五年八月

〔その他〕

- 「万葉集を訪ねて 第二回 宇智の大野」（『県民だより奈良』二〇一三年二月号〔第三二〇号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年二月
- 「おすすめ万葉歌」（「よろずは」平成二十五年二月）
- 「神々に捧ぐ歌」（MSムック『日本の神様―伊勢と出雲の神域めぐり』）メディアソフト、平成二十五年五月
- 「はじめての古事記 第1話 はじまりの神話」（『県民だより奈良』二〇一三年五月号〔第三二三号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年五月
- 「おすすめ万葉歌」（「よろずは」平成二十五年五月）
- 「はじめての古事記 第2話 生と死のはじまり」（『県民だより奈良』二〇一三年六月号〔第三二四号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年六月
- 「奈良の万葉古代学 咲く花の匂ふがごとく」（『朱雀』五四号、なら・観光ボランティアガイドの会）、平成二十五年七月
- 「はじめての古事記 第3話 太陽の神様と天の岩屋」（『県民だより奈良』二〇一三年七月号〔第三二五号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年七月
- 「おすすめ万葉歌」（「よろずは」平成二十五年八月）
- 「はじめての古事記 第4話 ヤマトノヲロチ」（『県民だより』）

奈良」二〇一三年八月号〔第三二六号〕、奈良県広報広聴課）、

平成二十五年八月

○「グルメー江戸時代から続く、美味しいものめぐり」「文学―

歴代の都」を描いた名作の数々」「万葉散歩―『万葉集』に詠
まれた故地をたどる」「名所散歩―春夏秋冬にぜひ訪れたい名

所」(松尾光編『近鉄沿線謎解き散歩』) KADOKAWA、平

成二十五年十月

○「万葉歌の魅力さをぐる(29) 風速の嘆きの霧」(「天飛ぶ」

三七号、万葉文化館友の会)、平成二十五年十一月

○「おすすめ万葉歌」(「よろずは」平成二十五年十一月)

竹本 晃

〔研究論文〕

○「磯越道なる能登瀬川」(「万葉古代学研究年報」一一号)、平
成二十五年三月

○「古代和泉の開発」(和泉市史編さん委員会編『和泉市の歴史6

テーマ叙述編Ⅰ 和泉市の考古・古代・中世』和泉市)、平成

二十五年三月

〔その他〕

○「記紀万葉の故地3」(「よろずは」平成二十五年四月)

○「記紀万葉の故地4」(「よろずは」平成二十五年七月)

○「万葉歌の魅力さをぐる(28) 出雲国の飢宇宙の海」(「天飛
ぶ」三六号、万葉文化館友の会)、平成二十五年七月

○「記紀万葉の故地5」(「よろずは」平成二十五年十月)

○「奈良の万葉古代学 平城京の禅院寺と飛鳥」(「朱雀」五五号、
なら・観光ボランティアガイドの会)、平成二十五年十月

○「はじめての古事記 第8話 建波邇安王の反乱と少女の歌」

(「県民だより奈良」二〇一三年二月号〔第三三〇号〕、奈良
県広報広聴課)、平成二十五年二月

○「記紀万葉の故地6」(「よろずは」平成二十六年一月)

小倉久美子

〔研究論文〕

○「弔問歌の形成―「君」の用法に着目して―」(「万葉古代学研
究年報」一一号)、平成二十五年三月

〔研究発表〕

○「日本古代における諒闇の特質」（日本史研究会古代史部会）平成二十五年二月

〔その他〕

○「万葉歌の魅力をさぐる（27） 武蔵野の景観」（「天飛ぶ」三五号、万葉文化館友の会）、平成二十五年三月

○「歌碑めぐり4」（「よろずは」平成二十五年六月号）

○「『万葉集』の昆虫・鳥」（「万葉図書・情報室だより」三六号）平成二十五年七月

○「歌碑めぐり5」（「よろずは」平成二十五年九月号）

○「はじめての古事記 第5話 大国主神と稲羽の素菟」（「県民だより奈良」二〇一三年九月号〔第三二七号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年九月

○「はじめての古事記 第6話 日向三代の結婚と出産」（「県民だより奈良」二〇一三年一〇月号〔第三二八号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年一〇月

○「はじめての古事記 第7話 神武天皇の東征」（「県民だより奈良」二〇一三年十一月号〔第三二九号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十五年十一月

○「歌碑めぐり6」（「よろずは」平成二十五年十二月号）

○「はじめての古事記 第9話 倭健命の戦い」（「県民だより奈

良」二〇一四年一月号〔第三三一号〕、奈良県広報広聴課）、平成二十六年一月

○「奈良の万葉古代学 平城天皇と万葉集」（「朱雀」五六号、なら・観光ボランティアガイドの会）、平成二十六年一月